

ホームランドリー化計画

ホームガス課 中下 裕司

今年の梅雨は例年に比べると20日ほど早い梅雨となり、衣類の乾きも悪く悩まれた方が多かったと思います。そこでおすすめのご紹介させていただきます。

乾太くんの特徴

●短時間乾燥で、干す手間も取り込む手間もかかりません

パワフルな乾太くんなら、8kgの洗濯物を約80分、5kgの洗濯物を約52分で乾燥。電気式の約1/3の時間で済むので、家事の時間を大幅に短縮できます。しかも乾太くんなら屋内設置の場合でも、本体上部の排湿筒から確実に湿気を屋外に放出するので、室内にこもることはありません。

●毎日使っても安心の低コスト

パワフル温風で短時間乾燥の乾太くん。1回の乾燥コストは5kgで63円、1カ月毎日つかっても約1,950円と経済的に使えます。

●気になる衣類の悪臭を、ガスの温風で除去、パワフル温風で「モラクセラ菌」の発育を抑制

80℃以上の温風で乾燥する乾太くんなら、外干しや日光消毒でも除去できないニオイを取り除きます。生乾き臭の心配ありません。

●仕上がり心地よく

新品タオルのように、繊維を立ち上げふんわり。大容量のドラムで、ガスならではの強い温風をたっぷり送り込みながら乾燥させるので、繊維が根元から立ち上がり快適に仕上がります。

●シャツの洗濯も自宅で大風量でシワを軽減

標準コースの運転でも大風量で一気に乾かすことで、自然とシワが伸び、アイロン掛けの手間が省けます。
①綿35%・ポリエステル65%のシャツでシワが軽減。②シワがつきやすい綿100%でも、シワが少ない仕上がりに。

●大物の洗濯も天候を気にせずいつでも

外干し不要の乾太くんなら、雨の日はもちろん、花粉の季節や黄砂・PM2.5などの大気汚染が気になる日のお洗濯も安心です。衛生的に仕上がるため、赤ちゃんの衣類乾燥にもオススメです。

●いつも清潔に使える、ドラム除菌運転

乾燥前にドラム除菌運転を行うことで、ドラム内を除菌します。靴の乾燥後も、安心してお使いいただけます。

●花粉中のアレル物質を軽減

天日干し後も、乾太くん乾燥させることで衣類に付着した花粉中のアレル物質を除去。短時間運転で、経済的に清潔な衣類に仕上げます。帰宅後の衣類のお手入れにも使えます。

無料お試しの等の貸出しも行っております。(無料貸出し対象 戸建住宅弊社ガス使用者に限る)

取付け可能かなどの現調、お見積りさせていただきます。自宅のホームランドリー化計画をお考えの方は是非ホームガス担当者までお問合せ下さい。

参考: <https://rinnai.jp/lp/kanta/>



リピートリフォーム〈Thanks キャンペーン〉

リフォームOB様限定企画

期間 7/1(木)～9/30(木)

～プレゼント概要～

10万円以上のご契約で商品券3千円分プレゼント!

30万円以上のご契約で商品券1万円分プレゼント!

100万円以上のご契約で商品券3万円分プレゼント!



※画像はイメージです

2021年7月1日(木)から9月30日(木)の間に、弊社で2回目以降のリフォームのご契約を頂くお客様へ、感謝の気持ちを込めてプレゼントをご用意しました♪



お問い合わせ時に、「リピートリフォーム〈Thanks キャンペーン〉を見た」とお伝え下さい。



コロナ禍 お見舞い申し上げます

代表取締役社長
家喜 正治

伊賀市においてのコロナワクチン集団接種もこの7月から始まります。早い時期に集団免疫の状況になることを願っております。

私たちが闘っているコロナウイルスは目に見えませんが、対応するには何らかの手段で可視化する必要があります。検査はその手法の一つでしょう。

今の医療機関での対応は「感染者と濃厚接触である」と認められないと公的な検査を受けられません。疑わしいと主張するだけでは簡単に検査を受けられないのです。どうしても事後的な対応となり、感染防止に先手を打つことが出来ないかと考えていました。そんな中、各種検査キットが一般向けに市販化されているとの話を耳にして、当社でも早速購入しました。

検査キットには抗体検査、抗原検査、PCR検査の3種類があります。簡単に説明します。

・抗体検査：抗体とは体の中に入ってきた細菌やウイルスなどに対応するために作られるタンパク質。過去に感染したことがあるということを検査します。従いまして、血液中のウイルスに対する抗体の有無を調べるので、指先から少量の血液を採取して検査します。

ワクチン接種の後に、このキットを使って免疫機能を獲得できたか否かを検査することが出来ると思います。

・抗原検査：ウイルス特有の「タンパク質＝抗原」を検出

・PCR検査：ウイルスに特徴的な一部分の「遺伝子の配列」を検出

どちらの検査もウイルスに感染しているか否かを判定します。

抗原検査は少量のウイルスでは正確な判定が出来ませんので、鼻の奥まで綿棒を通して検体を採取もしくは深い咳の喀痰を検体として使います。15分から30分で結果が出ます。インフルエンザの感染検査をイメージしてもらえば良いと思います。経験がありますが、かなり奥まで突っ込まれますよね。

PCR検査の正式名称は「ポリメラーゼ連鎖反応」(Polymerase Chain Reaction)となります。ウイルス等の遺伝子(DNA:デオキシリボ核酸)を増幅させて検出する技術です。増幅させますので、少量のウイルスでも検知できます。従いまして、唾液を検体として使用できます。採取前1時間程度は、飲食や歯磨き、うがい薬を使用したうがいは、しないようにとの注意事項が記載されています。採取した検体を検査機関へ送付しての判定になりますので、結果が出るまでには時間が必要です。検体が到着して最短3時間で検査状況がメール等で通知される仕組みです。

いずれの検査キットも最低20個からの販売。当社には60個のキットを在庫していることになります。使用期限が設けられていますので、来年の春には使い物にならなくなりますが、出番が来なくて済むようになることを願うばかりです。

ちなみに、PCR検査の仕組みを考え出した人は、アメリカのキャリー・マリス氏(1944～2019)。彼女とホンダシビックでドライブデート中にアイデアが突然ひらめいたとのこと。1983年に実験成功、この功績により1993年ノーベル化学賞受賞。(マリス博士の奇想天外な人生:ハヤカワ文庫NFより)故人の業績に感謝です。

